



R 8 学校便り No. 3

令和 8. 6. 1 1

四国中央市立
小富士小学校

資源回収・PTA レクバレーボール大会

6月7日（日）には、雨の中、資源回収にご協力いただき、ありがとうございました。収益金は小富士っ子の教育活動ために大切にに使わせていただきます。

また、その後行われました PTA レクバレーボール大会では、好プレーや珍プレーが飛び出し、笑顔でボールを追いかける姿が印象的でした。みなさんの素敵なたがりの輪が広がったことを実感しています。筋肉痛は大丈夫だったでしょうか。

準備から当日の運営、片付けまでみなさまの自発的なサポートがあって、無事に楽しく大会を終えることができました。ありがとうございました。



言葉は心の鏡～子どもたちに考えてもらった「言葉の大切さ」～

先日の校長講話で、「言葉の大切さ」について話をしました。少し重たいテーマでしたが、子どもたちは真剣なまなざしで私の話をしっかりと受け止めてくれました。

講話では、まず、「言葉には人の心を温める力がある」ことを話しました。毎日の気持ち良い挨拶で、心がつながること、困った友達を助ける言葉、感謝の言葉など、校内で実際に聞こえてくる小富士っ子の温かい言葉を紹介しました。

次に、「言葉には人の心を傷つける力がある」ことも話しました。その中でも、この小富士小学校から無くしていきたい言葉を三つ挙げました。それは、「きもい」「うざい」「しね」です。子どもたちに尋ねたら、ほとんどの子は使ったことがありませんでしたが、数名、使ったことがあると正直に振り返っていました。他にも、人を傷つける言葉はありますが、今回の話によって言葉に対する意識が高まり、失敗しながらでも相手を思いやる温かい言葉を自分で選べるようになるよう、子どもたちを見守っていきたいです。

「言葉は心の鏡」ですが、子どもたちの姿は周囲の大人たちの鏡でもあります。私たち大人も日頃の言葉遣いや子どもたちへの声掛けを大切にしていきたいですね。